

部局名	都市整備部	所属名	都市計画課	所属長名	藤井 信三	電 話	483-1151 内線3510
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3338		事務事業名称	街路建設事業						短縮コード	経常		臨時	3338
予算区分	会計	01	一般会計	款	08	土木費	項	04	都市計画費	目	03	街路事業費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		都市計画法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
都市計画法に基づき、健全な都市生活と機能的な都市活動を図るため、昭和38年12月に都市計画道路11路線を計画決定し、その後、社会情勢の変化に伴う道路ネットワーク形成の見直しにより、現在では33路線・総延長73,930mを都市計画決定している。 幹線道路の整備は、交通環境や生活環境等を総合的に勘案し、その緊急性や必要性に応じて、昭和38年度から事業化し幹線道路の整備を推進してきており、平成23年度末での整備率は 51.3%で、このうち4路線・6工区を街路建設事業として施行中である。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱（章）	05	第5章快適生活都市をめざして							
・東葉高速鉄道の沿線を中心に開発事業等による市街化が進行し人口の増加傾向に伴い交通量も増加が見込まれるなど社会環境が変化している。 ・事業に対する透明性・客観性など地域住民要望や地権者の理解など市民意識が変化している。 ・事業費の財源確保の困難など、社会経済状況が変化している。					大項目（節）	01	第1節総合交通							
					中 項 目	02	2. 道路							
					小 項 目	02	(2)都市計画道路の整備							
					細 項 目	01	①幹線道路の整備							
02	②自転車・歩行者道路の整備													
				実施計画の計画事業	5055	都市計画道路3・4・1号新木戸上高野原線整備事業(西八千代工区)								
					5056	都市計画道路3・4・1号新木戸上高野原線整備事業(上高野工区)								
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	地権者（関係権利者） 道路用地 道路築造							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： 用地交渉 道路用地の取得 工事（設計）							
	※平成24年度に計画していること： 用地交渉 道路用地の取得 工事（設計） 事業認可取得							
意図 （何を狙っているのか）	道路用地の確保 地権者等の理解と協力の促進 道路整備の促進							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	22年度	23年度		24年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	残り地権者（関係権利者）	人	56	46	48	34	
	指標2	要取得面積	m ²	3,874	2,490	2,781	1,504	
	指標3	工事（設計）延長	m	164	50	108	100	
活動指標	指標1	用地交渉件数	件	28	28	34	30	
	指標2	用地交渉回数	回	85	128	89	126	
	指標3	工事打合せ・現場出勤回数	回	83	103	73	85	
成果指標	指標1	用地取得件数	件	4	10	8	14	
	指標2	取得面積	m ²	398	1,384	1,016	1,277	
	指標3	工事完了延長	m	164	50	108	100	
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	3338	事務事業名称	街路建設事業				所属名	都市計画課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			この事業の進捗に大きな比重を占める道路用地の取得に当たっては、基本的に地権者の同意が必要な為、今後も継続して交渉にあたる。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			現状のまま継続する。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
・計画道路の早期着工 ・地権者からの早期買収の要望 ・事業区間の早期整備									

所属長コメント	街路事業は、都市基盤の再重要課題であり安全で快適な道路ネットワーク整備の為、今後も推進する。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									